

平成 31 年度（令和元年度） 全国学力・学習状況調査について

（本調査は、全国悉皆調査で第 3 学年生徒を対象に 4 月に実施されたもの）

1 学力調査に関する結果の概要

【国 語】

- 話合いの話題や方向を捉えて自分の考えをもつことができている。
- 伝えたい事柄について、根拠を明確にして書く力が身に付いている。
- 正しいものを複数選択する問題に課題が見られる。

【数 学】

- 数量や図形などについて理解できている。
- 資料の活用の領域で、資料の傾向を的確に捉え、判断の理由を数学的な表現を用いて説明したり、問題解決をするのにどの代表値を用いるか判断したりすることに課題がある。

【外国語】

- 基本的な知識を問う問題（選択式）は比較的正答率が高い。
- まとまりのある英語を聞いて必要な情報を理解したり、聞いて把握した内容について適切に応じたりすることに課題がある。

2 生徒質問紙に関する結果の概要

- 学校の規則を守り、将来の夢や目標をもって生活できている。
- 外国の人と友達になったり、外国のことについてもっと知ったりしてみたいという意欲が高い。
- 難しいことでも、失敗を恐れずに挑戦しようとする意識に課題がある。

3 取組についての評価

(1) 教科に関する取組

① 効果があった取組

- ・国語の授業における定期的な作文指導の実施
- ・テキストを活用し、基本的な知識や技能の定着を図る小テストの実施

② 今後の学力向上に向けた取組

- ・帰りの会を活用した 10 分間学習とミニテストの実施
- ・英語の 1 分間音読の実施
- ・週 1 回、全職員による補充学習の実施

(2) 生徒質問紙の内容に関する取組

① 効果があった取組

- ・英語の授業におけるスピーチやプレゼンテーションを取り入れた活動
- ・朝の会や帰りの会での生徒による放送、全教科・全教師による授業開始時のあいさつをオールイングリッシュで行う月 1 回の English Day の取組や、九州大学留学生との交流の取組

② 今後の学力向上に向けた取組

- ・教師も生徒もチャレンジする English Day の取組
- ・内容を充実させた組織的な教科部会の実施
- ・考える楽しさを実感できる授業づくり